現状の整理・課題

項目		現状や将来動向	考えられる問題点や課題		
現状や将来動向	交通を取り巻く現状	運転士不足等	・路線バス事業者においては現行の便数や路線の維持が厳しい状況	・運転士不足によるサービス水準の低下	
		ライフスタイルの変化	・働き方改革や新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機にテレワーク利用率が上昇	・公共交通利用者の減少	
		新技術の進展	・データの連携・利活用、新たな交通技術等により、地域が抱える様々な課題の解決に対する取組の推進	・新技術事業実施者の不在	
		SDGsの実現に貢献	・公共交通は、環境や健康の観点でメリットが大きい	・公共交通の利用促進	
	町田市の概況	地勢と土地利用状況	・市内東部から北部にかけては、平均傾斜角度が6度以上の地域 ・田畑や山林面積が減少し、宅地面積が増加	・通常の公共交通では移動ニーズに対応できない地域の存在	
		人口動向（将来人口、高齢化の見通し）	・人口は、鉄道駅周辺に集中し、町田駅、南町田グランベリーパーク駅、多摩境駅等で増加している一方、市全体では2024年をピークに減少する推計となっており、一部地域ではすでに人口減少と高齢化が進行	・人口減少・高齢化による移動ニーズの変化	
		都市機能の分布状況	・市街化区域内の大部分は、徒歩と公共交通を利用して日常生活を支える医療・福祉・商業施設等にアクセスが可能	・公共交通のサービス水準の維持 ・基幹的な交通の導入を見据えた拠点整備に伴う新たな移動ニーズの発生	
	町田市の交通の現状	公共交通徒歩圏域	・市街化区域内は、既存の公共交通の徒歩圏域により広範囲がカバーされている ・今後、新たに町田方面へ延伸が予定されている多摩都市モノレールにより、その利便性はさらに高まる見込み		
		鉄道等の利用状況	・鉄道や路線バスの利用者数は、コロナ禍以前の水準までは戻っていない状況		・公共交通利用者の減少
		交通分担率	・市内々の移動や市域を跨ぐ移動において鉄道やバスの公共交通利用が多い一方、業務や私事目的においては自動車利用が多い		・自家用車から公共交通への転換
		自動車交通	・市内各地で道路混雑（混雑度1.0超、混雑時旅行速度20km/h未満）が発生		・道路環境によるバスの遅延の発生
		市内外の人の動き	・市内居住者における全目的トリップは市内々における移動が多く、市外への移動は都区部や横浜市、相模原市への動きが見られる	・移動ニーズの対応	
	市民アンケート調査結果	公共交通への転換意向	・「転換することができない」の回答比率は約7割程度であり、その理由としては「ダイヤが合わない」、「便数が少ない」の回答比率が高い	・移動需要に対するニーズ把握・転換可能者への働きかけ	
		バスの運行に対する満足度	・「運行本数」、「運行時間帯」、「バス停の屋根やベンチの設置状況など」に対する満足度が低い	・公共交通の現状に対する市民の理解	
		バスを利用するための重要項目	・「運行本数」、「時刻表通りの運行」の回答比率が高い	・公共交通サービス水準の維持	
取り組みに対する行政の関与度		・「交通が不便な地域への対応」、「路線バスが走行できない地域での移動手段の確保」に積極的に取り組むべきとの声が多い	・公共交通の利便性が低い地域の存在		
生活圏（買い物目的）における移動実態		・65歳以上の高齢者は「市内」を目的地とする移動が多い一方、「バス」利用が多くなるため目的地までの所要時間は長くなる傾向	・自動車が利用できない環境となった場合の日常的な移動手段の確保		